

開講科目名	日本語コミュニケーション入門B			
成績入力担当	Harrison Richard、Harrison Richard		開講区分	単位数
			第2クォーター	0.0単位
ナンバリングコード	R1IG010	曜日・時限等	木4(対面)	時間割コード

授業のテーマ

研究室内及び生活上必要とされる基礎的な日本語コミュニケーション能力の習得を目指す。

授業の到達目標

- 1 日本語の特徴を理解できるようになる。
- 2 日本語の音を聞き分けて、文字(ひらがな・カタカナ)と合致できるようになる。
- 3 簡単な文型や語彙、日常会話の基本表現を用い、研究室や大学生活の場面での簡単なコミュニケーションができるようになる。

授業の概要と計画

- 6月11日 1. 時間について話す
6月18日 2. 行く・来る
6月25日 3. スケジュール
7月02日 4. 日にちをいう
7月09日 5. 誘い
7月16日 6. あります・います
7月23日 7. 復習・テスト
7月30日 8. 課題学習

成績評価方法

授業活動、授業参加度、最終試験で評価する。

1. 授業活動及び授業参加度 30%
2. 課題 30%
3. 最終試験 40%

※課題の詳細については、授業で説明する。

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的に F(不可)とする。

成績評価基準

1. 授業活動及び授業参加度: 授業内で提示する練習、タスクに取り組み、それらを通して、他の受講者とコミュニケーション活動を行おうとしているか。
2. 課題: 毎回課される宿題にきちんと取り組み、期日までに提出しているか。
3. 最終試験: 教科書に準じた試験を行なう。学習した文型、語彙・表現、会話表現などを理解し、活用できるか。

履修上の注意 (関連科目情報)

対象者: 日本語を初めて学習する、または、GEC-JTestの「初級レベル」のテストで得点が35点未満だった学習者を対象とする。
交換留学生(特別聴講学生)履修可

注意事項:

聴講生であっても、課題の提出や授業活動はきちんと行い、理由のない欠席はしないこと。

事前・事後学修

【事前学修】・教科書を各自で用意すること。【事後学修】

・毎回宿題をして提出すること。クラスを休んだ場合でも、授業スケジュールに従って、所定の宿題をして提出すること。宿題については授業内で説明する。

・語学習得の効果向上のため復習を推奨する。復習のための素材は、授業内で紹介する。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。”

オフィスアワー・連絡先

リチャード・ハリソン
harrison@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

本講義の履修者の国籍、言語、日本滞在歴、日本語学習の目的はさまざまです。多様な人々と一緒に、日本語の基礎を学習しましょう。

今年度の工夫

教科書

Shinso-Ban Basic Japanese for Students Hakase 1 Ryugakusei no Nihongo Shokyu 45 Jikan / Yoshiko Yamazaki, Mitsuru Doi : 3A network , , ISBN:
新装版 留学生の日本語初級45時間 はかせ1 / : , 2002 , ISBN:
/ : , , ISBN:9784883194056

参考書・参考資料等

Handout

授業における使用言語

日本語と英語

キーワード

日本語
初学者
交換留学生(特別聴講学生)可